

取扱説明書

オムロン コンプレッサー式ネブライザ NE-C29



COMP A-I-R™ Pro

- このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
- 本書に記載しているイラストはイメージ図です。

All for Healthcare

目次

ご使用前に

使用目的	1
安全上のご注意	2
次のものが入っていますか?	8
各部の名前	9
このネブライザの使い方	11

正しい吸入のしかた

吸入の準備をする	13
吸入する	18

吸入後のお手入れ

洗浄する	21
保管する	23
消毒について	25
エアフィルタの交換について	29

困ったときに・保証など

おかしいな?と思ったら	31
仕様	32
製造者による宣言	33
別売品について	35
保証規定/品質保証書	裏表紙

本製品は必ず医師、薬剤師の指導に従って正しくご使用ください。

- 薬液の種類、用量、用法については必ず医師、薬剤師の指示に従ってください。
- 水を用いての吸入はしないでください。
- のど、鼻の粘膜の加湿を目的とした機器とは用途が異なります。

使用目的

- 目的** 本製品は呼吸器疾患の吸入療法に使用することを目的としています。
- 対象使用者**
- ・医師、看護師、療法士などの専門知識を有した医療従事者
 - ・医療従事者の指導を受けた介護者および患者本人
 - ・NE-C29の一般的な操作と取扱説明書の文章を理解できる人
- 対象患者** 意識がないまたは自発呼吸下でない患者に使用しないでください。
- 環境** 一般家庭の屋内で使用することを意図しています。病院、医院、医療施設などの病棟屋内での使用は意図しませんが、使用は可能です。
- 耐用期間** 常温（23℃）で1日10回各10分間、生理食塩水を噴霧するという条件で以下のとおりです。使用環境条件によって変化し、使用頻度により耐用期間が短くなることがあります。

本体	3年
ネブライザキット、マウスピース、送気ホース、吸入マスク（小）、吸入マスク（小）用アダプタ、ノーズピース（別売品）、吸入マスク（大）（別売品）	100日
エアフィルタ	60日

- 使用上の注意** 取扱説明書に記載の警告と注意を守ってください。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

ご使用の前に

- ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告、注意について



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例



必ず守る

- 記号は強制（必ず守る）を示します。（上図は“必ず守る”）



禁止

- 記号は禁止（してはいけない）を示します。（上図は“禁止”）

警告

（使用にあたって）

薬液の種類、用量、用法については、必ず医師、薬剤師の指導に従ってください。使用中に何か異状を感じた場合、すぐに使用を止め、担当医師にご相談ください。

- 症状悪化の原因になります。

乳幼児やお子様の手の届かないところに置いてください。

- 乳幼児やお子様小さな部品を飲み込む恐れがあります。飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



必ず守る

水を用いての吸入はしないでください。

- 症状悪化の原因になります。

可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。

- 火災やけがの原因になります。

本体の通気口をふさがしないでください。

- 高温になり、やけどや故障の原因になります。

麻酔回路またはベンチレーター呼吸回路で使用しないでください。

- 事故の原因になります。



禁止

安全上のご注意

警告

(使用にあたって)

浴室など湿気の多い場所では使用や保管などしないでください。

- 漏電や感電の原因になります。



水場禁止

(電源について)

傷んだ電源コードや電源プラグは使用しないでください。

- 感電やショート、発火の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください。

- タコ足配線などにより定格を超えると、火災の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

- 感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

(お手入れと保管について)

次のときは洗浄、消毒してください。

- 初めて使用するとき
- 長期間使用しなかったとき
- 霧化部が汚れているとき
- 雑菌が繁殖し、症状悪化の原因になります。

使用後は毎回、洗浄してください。

- 次のような事柄の原因になります。
 - 雑菌の繁殖による症状悪化
 - 正常に噴霧しなくなることによる症状悪化
 - 古い薬液が混ざることによる症状悪化

複数の方が使用するとき、使用する人ごとに洗浄、消毒してください。

- 感染の原因になります。

薬液消毒後は、水で十分に消毒液を洗い流してください。

- 消毒液が残ったまま吸入すると症状悪化の原因になります。

一度使用した薬液は廃棄し、吸入ごとに新たな薬液を使用してください。

- 雑菌が繁殖し、症状悪化の原因になります。

洗浄、消毒した部品は汚染しないように清潔な場所に保管してください。また、十分に乾燥させてから組み立ててください。

- 雑菌が繁殖し、症状悪化や感染の原因になります。

内部に水分がついた状態で送気ホースを保管しないでください。

- 雑菌が繁殖し、症状悪化や感染の原因になります。

本体や電源コードは水洗いしたり、水に浸したり薬液をこぼしたりしないでください。

- 漏電や感電、故障の原因になります。こぼした場合は、すみやかにガーゼでふき取ってください。



必ず守る



水ぬれ禁止

 注意

(使用にあたって)

お客様または意志表示できない人に使用する、使用させる場合、決して目を離さないでください。

- 事故や症状悪化の原因になります。
- 電源コードや送気ホースなどで首が絡まったりし、事故の原因になります。

お使いになるときは、以下の項目を守ってください。

- 吸水管／バッフル、エアフィルタなど、部品は正しく装着する
- 本製品の付属品および本製品の別売品以外は使用しない
- 薬液ボトルの最大薬液量（7 mL）以上の薬液を入れない
- 使用、保管時は送気ホースを折り曲げない
- エアフィルタカバーや、キャップと外気導入口のすき間をふさがない
- 破損したネブライザキット、マスクおよびマウスピースは使用しない
- 正常に噴霧せず、症状悪化の原因になります。

顔に薬液が残らないように、マスクを取り外した後必ず顔を拭いてください。

- 肌荒れの原因になります。

使用中、本体が高温になる可能性があります。電源を切るなど必要な操作以外で本体に触れないでください。

- 低温やけどの原因になります。

ネブライザキットを45度以上傾けたり、強く振ったりしないでください。

- 薬液がこぼれ所定の用量が吸入できず、症状悪化の原因になります。

人以外に使用しないでください。

- 症状悪化の原因になります。

本体を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。

- 破損し、感電や故障の原因になります。

吸水管／バッフルを無理な力を加えて変形させたり、薬液ボトルのノズル部をピンなどで突いたりしないでください。

- 破損し、使用できなくなる原因になります。

本体を布団や毛布、タオルなどくるんだ状態で使用しないでください。

- 発熱や感電、故障の原因になります。

本体のすき間から内部に指やものを入れないでください。

- 感電や故障、けがの原因になります。

分解や修理、改造をしないでください。

- 発火や故障、事故の原因になります。



必ず守る



禁止



分解禁止

⚠注意

(電源について)

電源プラグはしっかり根元まで差し込んでください。

- 感電やショート、発火の原因になります。

電源プラグのほこりはふき取ってください。

- ほこりに湿気が加わると、感電やショート、発火の原因になります。

電源コードの取り扱いは以下の項目に注意してください。

- 傷つけない ■ 破損させない ■ 加工しない ■ 無理に曲げたり、引っ張らない
- ねじらない ■ 使用時は束ねない ■ 重い物を載せない ■ 挟み込ませない

- 感電や火災、故障の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

- 電源コードの断線やショートにより、火災や感電の原因になります。

電源コードが破損した場合、自分でコードの交換をしないでください。コードの交換が必要な場合は、オムロンお客様サービスセンターまでご連絡ください。

- 感電や火災、故障の原因になります。

長時間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いてください。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使用後とお手入れの前には、電源プラグを抜いてください。

- 感電やけがの原因になります。

使用中に停電したときは、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

- 事故やトラブルの原因になります。



電源プラグを抜く

⚠注意

(お手入れと保管について)

煮沸洗浄、煮沸消毒するときは、空だきに注意してください。

- 火災の原因になります。

エアフィルタは 60 日に 1 回、新しい物に交換してください。
変色したり、水にぬれたりしたときは、そのつど新しい物に交換してください。

- 空気の流量が低下し、正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。

極端に高温または低温、あるいは直射日光の下に置いたままにしないでください。

部品の煮沸や乾燥などに電子レンジを使用しないでください。

- 高温により変形し、正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。
- 火災の原因になります。

部品の乾燥にドライヤーを使用しないでください。

- 高温により変形し、正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。

本体の乾燥目的で、電子レンジ、食器乾燥機、ヘアドライヤーを使用しないでください。

- 火災や故障の原因になります。

消毒の目的で EOG ガス滅菌、低温プラズマ滅菌を使用しないでください。

- 残留ガスなどの影響により、症状悪化の可能性があります。



(吸水管 / バッフルの取扱いについて)

吸入が終わった後、毎回必ず洗浄してください。

- 目詰まりし正常に噴霧せず症状が悪化する原因になります。

煮沸洗浄は、部品が十分浸かる量の水で行ってください。

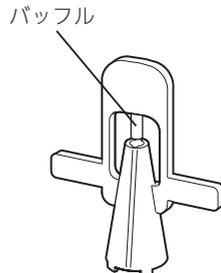
- 水の量が少ないと高温になる煮沸容器の底に部品が接触することにより変形し、正常に噴霧せず症状が悪化する原因になります。

洗浄時にブラシ、ピンなどを使用しないでください。

- バッフルに傷が付くと正常に噴霧せず症状が悪化する原因になります。

本製品および本製品の別売品以外のものと同様に煮沸しないでください。

- バッフルに傷が付くと正常に噴霧せず症状が悪化する原因になります。



お願い

機器および部品は、ご使用の前に点検をおこない、異常がないか確認してください。特に以下の項目は必ず点検してください。

点検項目

- 吸水管／バッフル、ノズル部、送気ホースなどに損傷がないこと
※損傷していると正常に噴霧できなくなります。別売品をお求めください。
- ノズル部に目詰まりがないこと
- 本体に異音がないこと
※本製品をお使いになるときは、本体からポンプの動作音や振動音が発生します。また、ネブライザキットからも圧縮空気の吐出音が発生します。これらは、構造上発生するもので故障ではありません。また、製品寿命にも影響ありません。

吸入以外の目的で使用しないでください。

+ 40℃以上の環境で使用しないでください。

- 故障の原因になります。

ご不要となった本体や付属品、別売品の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

- 環境汚染の原因になります。

商用電源から機器を完全に遮断するためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。そのため、ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

有毒ガスや揮発性物質雰囲気内で使用または保管しないでください。

薬液ボトルに薬液を入れたまま、放置や携帯をしないでください。

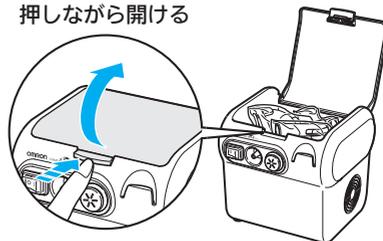
- 薬液がこぼれ、本体の故障や周囲を汚す原因になります。

次のものが 入っていますか？

箱の中には次のものが入っています。
万一、不足のものがありましたら、
オムロンお客様サービスセンター
(☎電話 0120-84-6606) まで
ご連絡ください。

図のように収納カバーを開けて、
付属品を取り出してください。

押しながら開ける



1. 本体



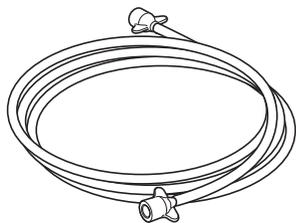
2. ネブライザキット



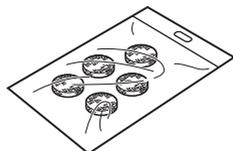
3. 吸水管／バッフル (予備用) (1個はネブライザ キットに装着済み)



4. 送気ホース



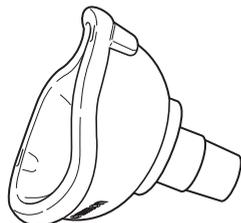
5. 交換用エアフィルタ (5個)



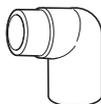
6. マウスピース



7. 吸入マスク (小)



8. 吸入マスク (小) 用 アダプタ

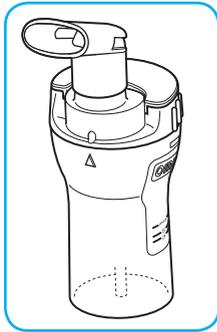


9. 取扱説明書 (本書：品質保証書付き)

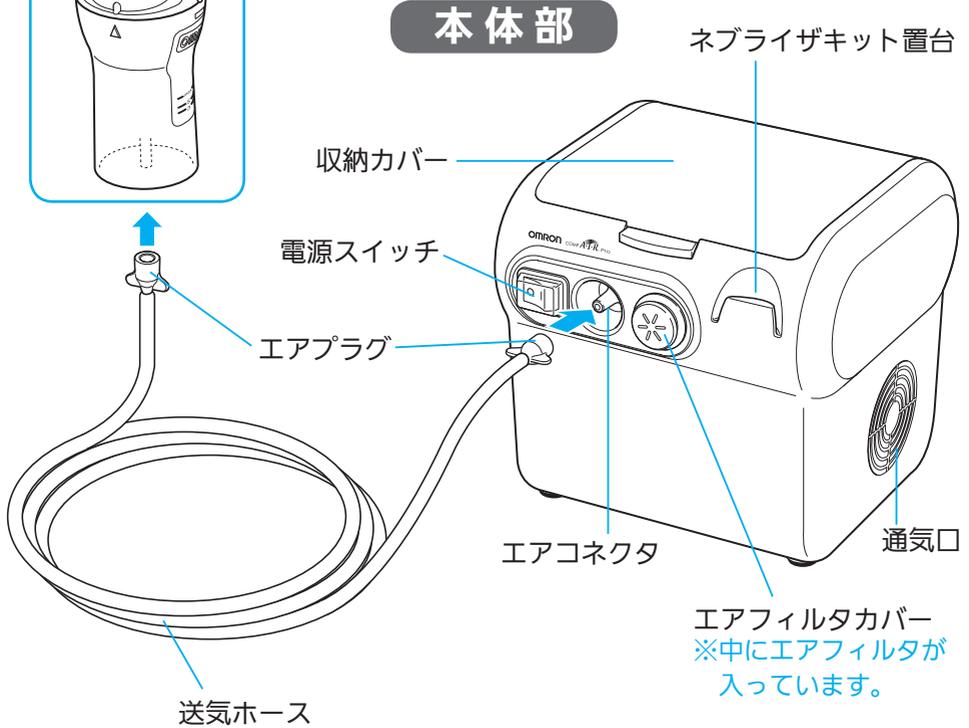
10. 医療機器添付文書

各部の名前

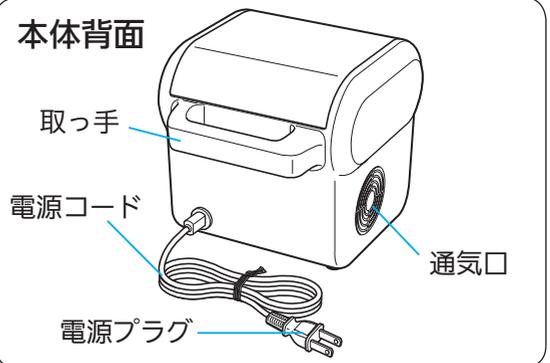
霧化部



本体部



本体背面



霧化部

吸入用アタッチメント

マウスピース



吸入マスク (小)



吸入マスク (小) 用
アダプタ



吸入マスク (大) (別売品)



ノーズピース (別売品)

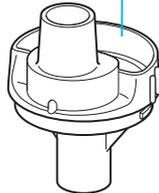


ネブライザキット



キャップ

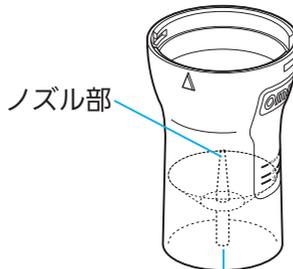
外気導入口



外気導入口管



吸水管/バッフル



ノズル部

薬液ボトル

送気ホース差込口

このネブライザの使い方

NE-C29 はこのような流れで使います。

吸入の準備をする (👉 13 ページ)

初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、お使いになる前に霧化部を洗浄・消毒してください。

吸入する (👉 18 ページ)

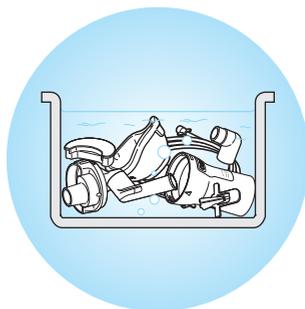
- ・ネブライザキットを 45 度以上傾けないでください。
- ・送気ホースが折れ曲がらないようにしてください。



吸入後は、必ず洗浄する

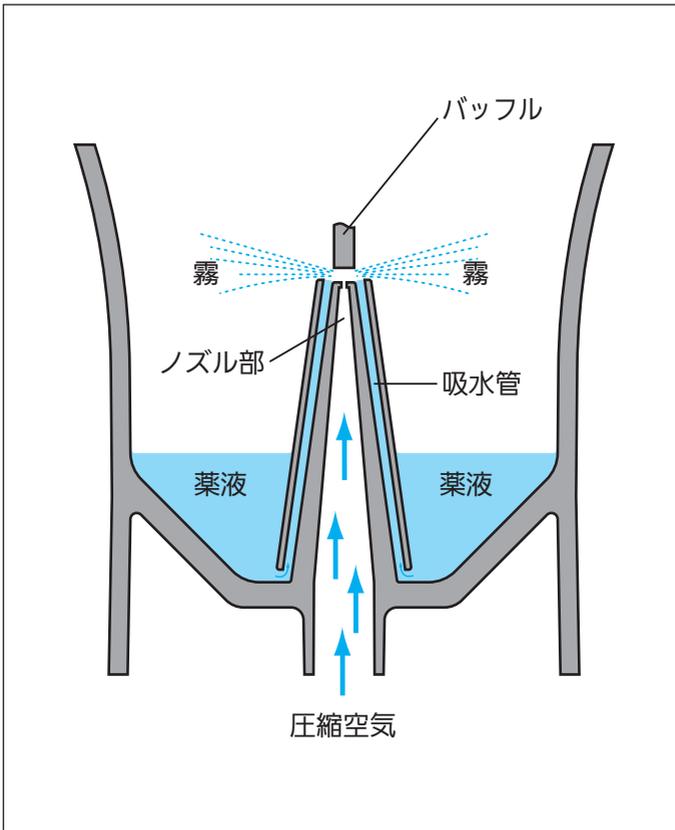
(👉 21 ページ)

洗浄しないと、雑菌が繁殖する原因になります。



噴霧のしくみ

本体内部のコンプレッサーにより発生した圧縮空気が、ノズルから吐出される時、ノズル部と吸水管の間に生じる負圧作用によって、薬液が上部へ吸い上げられます。吸い上げられた薬液は、上部のバッフルに衝突し、細かい霧となって外部に噴出します。



ネブライザキット部イメージ図

吸入の準備をする

吸入する前の準備をします。

※初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、お使いになる前に霧化部を洗浄・消毒してください。

前回の吸入後、洗浄しましたか？

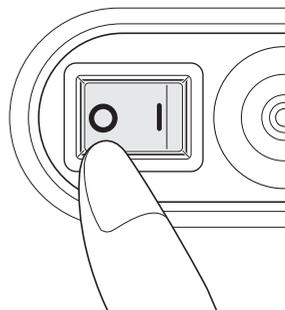
洗浄を忘れてしまったときや、洗浄していても汚れているときは、ご使用になる前に洗浄してください。「洗浄する」(P. 21 ページ)

- ・エアフィルタは定期的に交換していますか？
「エアフィルタの交換について」(P. 29 ページ)

1 電源を準備する

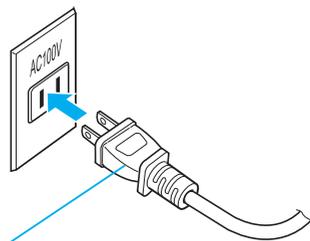
1 電源が切れていることを確認する

電源スイッチの「○」の方が押してあることを確認してください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

※電源プラグの抜き差しが困難な場所で使わないでください。

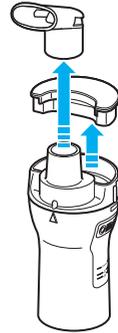


電源プラグ ※必ずプラグ部分を持って、差し込んでください。

2 部品を取り外す

※ネブライザキットやマウスピースに触るときは必ず手をきれいに洗ってください。

1 マウスピースとキャップを取り外す



正しい吸入のしかた

2 薬液ボトルから外気導入管を取り外す

- ① 外気導入管を反時計回りに回す
- ② 持ち上げて外す



3 薬液ボトルから吸水管／バップルを取り外す



3 薬液ボトルに薬液を入れる

決められた用量、用途に従い、薬液を入れてください。

※適正薬液量は、約2～7mLです。

- 薬液が多い →薬液を霧にする部分が薬液によって覆われて霧化できなくなる
- 薬液が少ない→薬液を吸い上げることができず霧化できなくなる

(☞ 12 ページ)



4 組み立てる

1 吸水管／バップルを薬液ボトルのノズル部にかぶせる

△注意

吸水管／バップルを無理な力を加えて変形させたり、薬液ボトルのノズル部をピンなどで突いたりしないでください。

- 破損し、使用できなくなる原因になります。



2 外気導入管を薬液ボトルに取り付ける

- 1 図のように外気導入管の凸部と薬液ボトルの凹部の位置を合わせてはめ込む



- 2 時計回りに回し、薬液ボトルと外気導入管の目印を合わせる

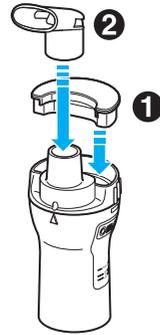


3 吸入用アタッチメントを取り付ける

マウスピース、ノーズピース（別売品）を使用する場合はキャップを取り付けてください。キャップを同時に使用することで空気中に排出される薬の無駄を少なくできます。

■ マウスピースの取り付け方

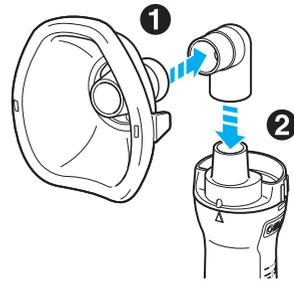
- ① キャップを外気導入口に取り付ける
- ② マウスピースを取り付ける



■ 吸入マスク（小）の取り付け方

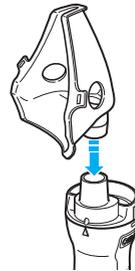
- ① 吸入マスク（小）用アダプタと吸入マスク（小）を組み立てる
- ② ネブライザキットに取り付ける

※キャップは取り付けません。



■ 吸入マスク（大）（別売品）の取り付け方

※キャップは取り付けません。



■ ノーズピース（別売品）の取り付け方

- ① キャップを外気導入口に取り付ける
- ② ノーズピースを取り付ける



吸入の準備をする

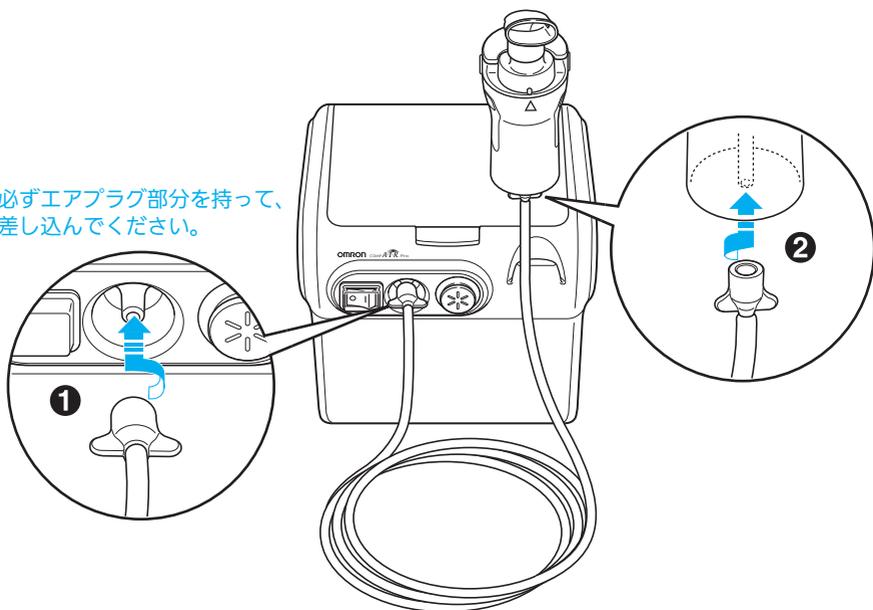
4 送気ホースを取り付ける

- ① 本体のエアコネクタに取り付ける
- ② 薬液ボトルの送気ホース差込口に取り付ける

※薬液がこぼれるため、ネブライザキットを横にしないでください。

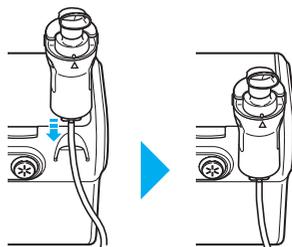
※使用中に抜けないように、しっかりと取り付けてください。

※必ずエアプラグ部分を持って、差し込んでください。



■ ネブライザキット置台について

ネブライザキットを一時的に置くときにご使用ください。



これで準備ができました。

吸入する

吸入する手順を説明します。

1 図のようにネブライザキットを持つ

△注意

ネブライザキットを45度以上傾けたり、強く振ったりしないでください。

- 薬液がこぼれ所定の用量が吸入できず、症状悪化の原因になります。



禁止

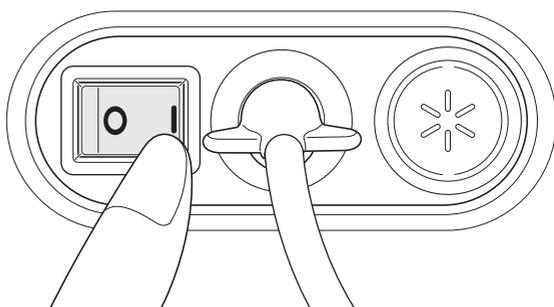


正しい吸入のしかた

2 電源を入れる

電源スイッチの「|」の方を押します。

電源が入り噴霧が始まります。



■噴霧を止めるには…

電源スイッチの「○」の方を押して、電源を切ります。

△警告

本体の通気口をふさがないでください。

- 高温になり、やけどや故障の原因になります。



禁止

△注意

エアフィルタカバーをふさがないでください。

- 正常に噴霧せず、症状悪化の原因になります。



禁止

吸入する

マウスピースでの吸入



マウスピースを口にくわえて吸入します

吸入マスク（小）での吸入



マスクで口と鼻をおおうようにして吸入します

※噴霧量が多すぎるときは
キャップを取り付けてご
使用ください。

吸入マスク（大）（別売品）での吸入



マスクで口と鼻をおおうようにして吸入します

※噴霧量が多すぎるときは
キャップを取り付けてご
使用ください。

ノーズピース（別売品）での吸入



鼻から吸入します

■吸入中に噴霧が止まったり、噴霧量が少ないときは…

「おかしいな?と思ったら」をご覧ください。(☞ 31 ページ)

4 吸入を終了する

1 電源を切る

電源スイッチの「○」の方を押します。

2 ネブライザキットを送気ホースから取り外す

※必ずエアプラグ部分を持って、抜いてください。

3 送気ホース内に結露や水分が残っていないか確認する

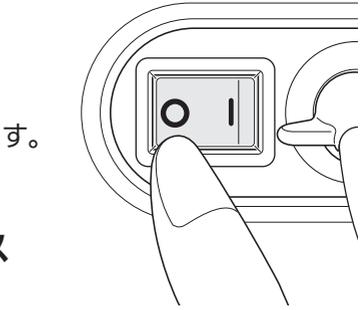
送気ホース内の水分除去方法

送気ホースに結露がある場合は、必ず、下記のとおり送気ホース内の水分を除去してください。

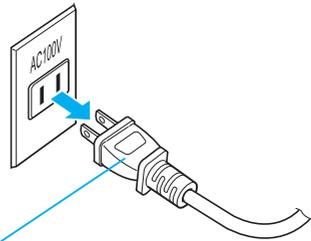
- ① 送気ホースの本体側は、エアコネクタに差し込んだままにしてください。
- ② 送気ホースからネブライザキットを取り外してください。
- ③ 電源を入れ、送気ホース内に空気を送り水分を除去してください。

4 送気ホースを外す

5 電源プラグをコンセントから外す



正しい吸入のしかた



電源プラグ ※必ずプラグ部分を持って、抜いてください。

洗浄する

吸入後は以下の手順に従って霧化部を洗浄してください。

⚠警告

使用後は毎回、洗浄してください。

- 次のような事柄の原因になります。
 - ・ 雑菌の繁殖による症状悪化
 - ・ 正常に噴霧しなくなることによる症状悪化
 - ・ 古い薬液が混ざることによる症状悪化



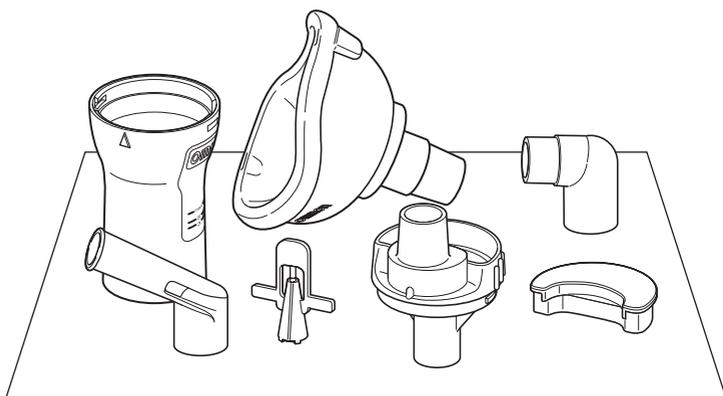
必ず守る

吸入後のお手入れ

1

霧化部を分解する

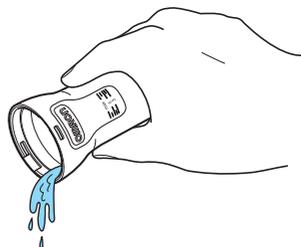
吸入用アタッチメントとネブライザキットを取り外し、ネブライザキットを分解します。(➡ 14 ページ)



2

薬液を捨てる

薬液ボトルに残った薬液はすべて捨てます。



3

部品を洗淨する

部品をなくさないように注意して清潔な水で水洗いしてください。

汚れが落ちにくいときは、煮沸洗淨する

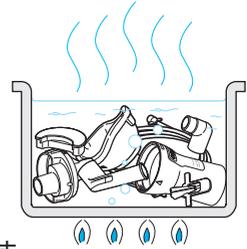
毎日続けて使用する場合は、数日に1回10分程度の割合で煮沸してください。

■下記の部品は、煮沸洗淨できます。

- ・ネブライザキット
 キャップ、外気導入管、吸水管／バッフル、薬液ボトル
- ・吸入用アタッチメント
 マウスピース、吸入マスク（小）、吸入マスク（小）用アダプタ、吸入マスク（大）（別売品）、送気ホース
 ※ノーズピース（別売品）は煮沸できません。

煮沸洗淨のしかた

- ① 十分な水を入れた容器の中に、煮沸洗淨できる部品を入れ沸騰させます。
- ② 沸騰したらそのまま10分程度煮沸します。
- ③ 部品を取り出し、すみやかに乾燥させます。



※送気ホース内の水分は必ず除去してください。（P. 20 ページ）

煮沸洗淨しても汚れが落ちないときは、新しいものと交換してください。「別売品について」（P. 35 ページ）

△注意

吸水管／バッフルを無理な力を加えて変形させたり、薬液ボトルのノズル部をピンなどで突いたりしないでください。

- ・破損し、使用できなくなる原因になります。



禁止

4

洗淨が終わったら、
すみやかに乾燥させる

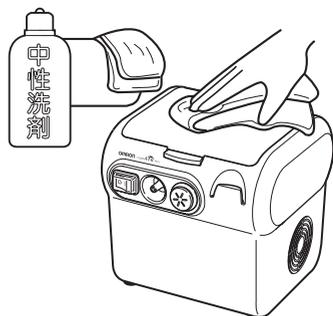
保管する

1 ネブライザキットを組み立てる

2 本体や送気ホースの外側の汚れをふき取る

本体や送気ホースの外側が汚れている場合は、水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布などできれいにふき取ります。

※本体は防水構造ではありません。



3 本体に収納して、清潔な場所に保管する

本体の収納部に付属品を入れ、収納カバーを閉じます。

※収納部は常に清潔に保つようにはしてください。また、ぬれたまま放置しないようにしてください。



■お手入れと保管時のお願い

汚れを落とすとき、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。



次のようなところに保管しないでください。

- ・水のかかるところ。
- ・高温・多湿、直射日光、ほこり、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- ・傾斜、振動、衝撃のあるところ。
- ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

ご不要となった本体や付属品、別売品の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

※上記の注意事項、その他の正しい使用方法をお守りいただけない場合は、品質に責任を負いかねます。

■持ち運びについて

本体底面と取っ手を持ち、持ち運びします。

- ・収納カバーを持たないでください。
- ・収納カバーが確実に閉まっていることを確認してください。

※本体や収納した部品が落下する原因になります。

※薬液ボトルに薬液を入れたまま放置したり、携帯しないでください。
薬液がこぼれ、本体の故障や周囲を汚す原因になります。

消毒について

本製品は、次の方法で消毒することができます。
ご家庭においては、★印の付いた方法での消毒をおすすめします。

消毒・滅菌対応一覧表

部品名		材 質	煮沸消毒	オートクレーブ	
家庭向け推奨			★		
マウスピース		ポリプロピレン樹脂 (PP)	○	○	
吸入マスク (小)		スチレン系エラストマ樹脂 (SEBS)	○**	○	
吸入マスク (小) 用アダプタ		ポリプロピレン樹脂 (PP)	○	○	
吸入マスク (大) (別売品)		スチレン系エラストマ樹脂 (SEBS)	○**	○	
ノーズピース (別売品)		ポリ塩化ビニール樹脂 (PVC)	×	×	
ネブライザキット		ポリプロピレン樹脂 (PP)	○	○	
送気ホース		シリコン+ポリプロピレン樹脂 (PP)	○※	○※	
エアフィルタ		ポリエステル	×	×	
エアフィルタカバー		アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン樹脂 (ABS)	×	×	

吸入後のお手入れ

○＝使用可能

×＝使用不可

上段：成分、下段：主な消毒液

	アルコール系	次亜塩素酸 ナトリウム系	第四アンモニウム系	クロルヘキシジン系	両性界面活性剤	酢酸系
	消毒用エタノール	*ミルトン、 ビューラックス他	*オスパン S 他	*5%ヒビテン液、マスキン液 (5W/V%) 他	*テゴール 51 他	
		★				
	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○
	○*	○*	○*	○*	○*	○*
	×	×	×	×	×	×
	×	○	○	○	○	○

吸入後のお手入れ

※ 送気ホース内の水分除去方法 (👉 20 ページ)

* 市販されている消毒薬の例

** 吸入マスク (大) (小) のひもは煮沸消毒しないでください。

薬液消毒するときは、各種消毒液の取扱説明書の注意事項に従ってください。

消毒液につけておく時間は、消毒液の取扱説明書に従ってください。

消毒液から取り出した後は清潔な水で十分水洗いし乾燥をおこない、清潔な場所で保管してください。

着色された消毒液（ヒビテンなど）を使用すると、部品により経年にて多少変色することがありますが、物性上問題はありません。

- ・変色すると色は元に戻りません。変色がひどい場合は別売品をご購入のうえ、交換してください。
- ・霧化部を消毒液から取り出した後は、消毒液の取扱説明に従い、清潔な水で十分水洗いし消毒液の残留がないようご注意ください。消毒液を吸入し症状が悪化する原因になります。

オートクレーブ滅菌をするときは、必ず部品を分解し滅菌バッグを使用してください。

オートクレーブ設定条件：121℃ 15分 134℃ 3分

（滅菌バッグを使用しない場合や、上記と異なる条件でオートクレーブ滅菌を実施すると、部品が熱で変形し、噴霧できなくなる原因になります。）

△注意

吸水管／バッフルを無理な力を加えて変形させたり、薬液ボトルのノズル部をピンなどで突いたりしないでください。

- ・破損し、使用できなくなる原因になります。



禁止

煮沸消毒のしかた

- ① 十分な水を入れた容器の中に、煮沸消毒できる部品を入れ沸騰させます。
- ② 沸騰したらそのまま 15 分以上煮沸します。
- ③ 部品を取り出し、すみやかに乾燥させます。
※送気ホース内の水分は必ず除去してください。
(👉 20 ページ)



エアフィルタの交換について

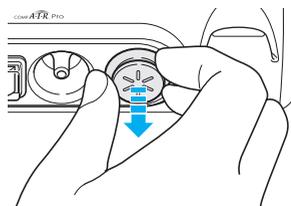
エアフィルタは定期的
に交換してください。

交換の目安

エアフィルタが汚れたり、薬液や水でぬれた場合は、新しいエアフィルタと交換してください。エアフィルタは汚れが目立たなくても 60 日に 1 回は交換してください。

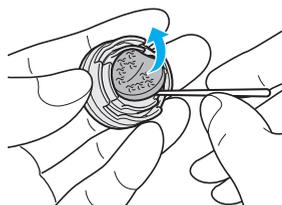
交換のしかた

- 1 エアフィルタカバーを手前に引き出して取り外す

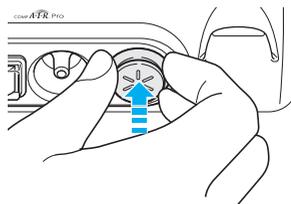


- 2 エアフィルタを交換する

中のエアフィルタをつまようじのような先の細いもので取り出します。取り出したエアフィルタは廃棄し、新しいエアフィルタに交換してください。



- 3 エアフィルタカバーを取り付ける



■エアフィルタおよびエアフィルタカバーの取り扱いについて

- エアフィルタは必ず専用のエアフィルタをご使用ください。
また、エアフィルタをつけないで使用しないでください。
- エアフィルタに表裏はありません。
- 吸入する前にエアフィルタにゴミ、ほこりが付着していないか確認してください。
- エアフィルタはぬれると目詰まりするのでぬらさないようにしてください。万一、ぬれた場合は交換してください。
- エアフィルタカバーは、目詰まりを防ぐため、水洗いなどにより定期的に清掃してください（煮沸はできません）。
また、水洗いのときは必ずエアフィルタを取り出してから清掃し、よく乾燥させてから、正しくエアフィルタをつけてください。

※エアフィルタのお求めや、付属の部品を破損、紛失したときは
オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。

( 裏表紙)

おかしいな?と思ったら

困ったときに・保証など

こんなとき	原因	対処のしかた
電源スイッチを「I」にしても噴霧しない または噴霧量が少ない	電源プラグがコンセントに正しく接続されていない	電源プラグを取り外し、もう一度正しく接続してください (P. 13 ページ)
	薬液が入っていない	薬液を入れてください (P. 15 ページ)
	薬液が多すぎる／少なすぎる	薬液を適量入れてください (P. 15 ページ)
	吸水管／パッフルがない、または正しく取り付けられていない	吸水管／パッフルを正しく取り付けてください (P. 15 ページ)
	ネブライザキットが正しく組み立てられていない	正しく組み立ててください (P. 15 ページ)
	薬液ボトルのノズル部が詰まっている	煮沸洗浄により目詰まりをとってください (P. 22 ページ)
	ネブライザキットが傾いている	ネブライザキットを 45 度以上傾けないように吸入してください
	送気ホースが本体およびネブライザキットに正しく接続されていない	正しく接続してください (P. 17 ページ)
	送気ホースが折れ曲がっている	送気ホースをのばし、折れをなくしてください
	送気ホースが詰まっている	送気ホースを交換してください (P. 35 ページ)
	エアフィルタが汚れている	付属または別売品のエアフィルタと交換してください (P. 29 ページ)
	吸水管／パッフルが変形している	付属または別売品の吸水管／パッフルと交換してください (P. 15 / 22 / 27 ページ)
薬液ボトルのノズル部が変形している	別売品の薬液ボトルと交換してください (P. 15 / 22 / 27 ページ)	
動作音が大きくなった	エアフィルタカバーが正しく取り付けられていない	エアフィルタカバーを正しく取り付けてください (P. 29 ページ)
本体が異常に熱くなった	通気口がふさがっている	通気口を風通しの良いようにしてください (構造上、ポンプから熱が発生し本体は温かくなります。異常に熱くなった場合は使用を中止しオムロンお客様サービスセンターにお問い合わせください)

※上記の方法でも正常に動作しない場合は、内部機構にさわらずにオムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。(P. 裏表紙) また、故障などによりご使用になれない場合は、すぐに医師にご相談ください。

仕 様

医療機器届出番号	26B1X10002000008
類 別	機械器具 76 医療用吸入器
一 般 的 名 称	非加熱式ネブライザ
医療機器分類	一般医療機器
使用目的/効能効果	霧化された薬液を鼻腔、上気道、気管支などに直接作用させる吸入療法に用いる

販 売 名	オムロンコンプレッサー式ネブライザ NE-C29
電 源	AC100V 50 / 60Hz
消 費 電 力	58W
噴 霧 能 力	約 0.4mL / 分*
噴 霧 粒 子 径	MMD 約 5 μ m (全噴霧粒子の約 50%) * (EN13544-1 に準拠 自社測定での代表値)
薬液ボトル容量	最大 7mL
適 正 薬 液 量	約 2 ~ 7mL
使用環境温湿度	+ 10 ~ + 40℃ 30 ~ 85% RH
保管環境温湿度	- 20 ~ + 60℃ 10 ~ 95% RH
本 体 質 量	約 2.3kg (本体のみ)
外 形 寸 法	幅約 186 × 高さ約 180 × 奥行き約 216mm
電 撃 保 護	クラスII 機器
装着部の分類	B 形装着部 (マウスピース、吸入マスク、ノーズピース)
付 属 品	ネブライザキット(キャップ、外気導入管、吸水管/バッフル、薬液ボトル)、 吸水管/バッフル(予備用)、送気ホース、交換用エアフィルタ(5個)、 マウスピース、吸入マスク(小)、吸入マスク(小)用アダプタ、 取扱説明書(品質保証書付き)、医療機器添付文書
製 造 販 売 元	オムロンヘルスケア株式会社 住所: 〒 617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地 電話: 0120-84-6606 (オムロンお客様サービスセンター)

困ったときに・保証など

*周囲温度 23℃、水温 23℃、マウスピース・キャップを接続しない状態で生理食塩水 (3mL) を用いて測定した社内データの代表値

※薬液種類、使用する付属品、吸入される患者様の呼吸動作によって変化します。

※ノーズピース使用時は噴霧能力が低下します。

※お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

可燃性ガス雰囲気内での使用：適さない

EMC
適合

本製品は EMC 規格 IEC 60601-1-2 : 2007 に適合しています。
しかし、他の医用機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。取扱説明書に従って正しい設置、取り扱いをしてください。

□ = クラスII 機器

⤴ = B 形装着部

📖 = 取扱説明書をお読みください。

○ = 電源オフ

⏻ = 電源オン

製造者による宣言

電磁環境適合性 (EMC) に関する重要情報

PC や携帯電話などの電子機器の数が増えるに伴い、使用中の医療機器は他の機器からの電磁干渉の影響を受けやすくなる可能性があります。電磁干渉によって医療機器を誤動作させ、潜在的に危険な状況を作る恐れがあります。医療機器も他の機器を干渉すべきではありません。

危険な製品状況を防ぐことを目的として EMC (電磁環境適合性) の要件規定のため、IEC60601-1-2:2007 規格が施行されました。この規格では、電磁干渉に対する耐性のレベルのほか、医療機器に対する電磁放射の最高レベルも定義しています。

オムロンヘルスケア株式会社が製造した本医療機器は、耐性と放射の両方に関して IEC60601-1-2:2007 規格を準拠しています。

それでもなお、特別な予防措置を講じる必要があります。

- 医療機器の近くで携帯電話や他の機器を使用しないでください。使用によって、電場や電磁場を発生させます。これによって機器を誤動作させ、潜在的に危険な状況を作る恐れがあります。距離が近い場合、機器が正しく動作するかを確認してください。

NE-C29 は以下に指定した電磁環境内での使用を意図しています。使用者は、そのような環境内で NE-C29 が使用されることを確認してください。

電磁エミッション：(IEC60601-1-2)

エミッション試験	適合性	電磁環境
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	NE-C29 は、内部機能のためだけに RF エネルギーを用いている。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	NE-C29 は、住宅環境および住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含む全ての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC61000-3-2	クラス A	
電圧変動/フリッカエミッション IEC61000-3-3	適合	

電磁イミュニティ：(IEC60601-1-2)

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床は、木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30 % であることが望ましい。
電氣的ファストトランジェント/パースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV ライン-ライン間 ± 2 kV ライン-接地間	± 1 kV ライン-ライン間 ± 2 kV ライン-接地間	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電源入力ラインにおける電圧ディップ、 短時間停電及び電圧変化 IEC 61000-4-11	<5 % U_T (>95 % U_T のディップ) 0.5 サイクル間	<5 % U_T (>95 % U_T のディップ) 0.5 サイクル間	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。NE-C29 の使用者が電源の停電中にも連続した移動を要求する場合には NE-C29 を無停電電源から電力供給することを推奨する。
	40 % U_T (60 % U_T のディップ) 5 サイクル間	40 % U_T (60 % U_T のディップ) 5 サイクル間	
	70 % U_T (30 % U_T のディップ) 25 サイクル間	70 % U_T (30 % U_T のディップ) 25 サイクル間	
	<5 % U_T (>95 % U_T のディップ) 5 秒間	<5 % U_T (>95 % U_T のディップ) 5 秒間	
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を有することが望ましい。

備考： U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

電磁イミュニティ：(IEC60601-1-2) (つづき)

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 V rms 150 kHz ~ 80 MHz	3 V rms	携帯及び移動 RF 通信機器は、ケーブルを含めこの NE-C29 のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する等式から計算された推奨分離距離より近づけて使用してはならない。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$ 150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ~ 2.5 GHz ここに P は、送信機製造会社による送信機のワット (W) で表した最大出力電力定格で、 d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。 現場電磁調査 * ^a によって決定したように、固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数帯域 * ^b における適合レベルよりも低くなければならない。 次の記号が表示されている機器の近傍では干渉が生じるかもしれない： 
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.5 GHz	3 V/m	
備考 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。 備考 2 これらのガイドラインはすべての状況に対して適用するものではない。電磁拡散は建築物、物、人からの反射と吸収に影響される。			
^a 例えば無線電話基地局 (携帯/コードレス) と陸上移動無線、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送及び TV 放送の基地局のような固定送信機からの電界強度を正確に理論的に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を正しく判断するためには、現場電磁調査を考慮すること。その NE-C29 が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用される RF 適合レベルを超える場合は、その NE-C29 が正常動作をするかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合には、その NE-C29 の再編成又は再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。			
^b 150 kHz ~ 80 MHz 周波数帯域外に対して、電界強度は 3 V/m 未満であることが望ましい。			

推奨分離距離

携帯及び移動 RF 通信機器と NE-C29 間の推奨分離距離

NE-C29 は、RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。NE-C29 の使用者は、送信機の最大出力時に基づく下記に推奨している携帯及び移動 RF 通信機器 (送信機) と NE-C29 との最小距離を管理することで、電磁妨害を阻止することを促進できる。

送信機の最大出力電力定格	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストされていない最大出力電力の定格の送信機に対しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する様式を用いて決定できる。
等式における P は送信機製造者によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力の定格である。

備考 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、分離距離は高い周波数帯域を適用する。
備考 2 これらのガイドラインはすべての状況に対して適用するものではない。電磁拡散は建築物、物、人からの反射と吸収に影響される。

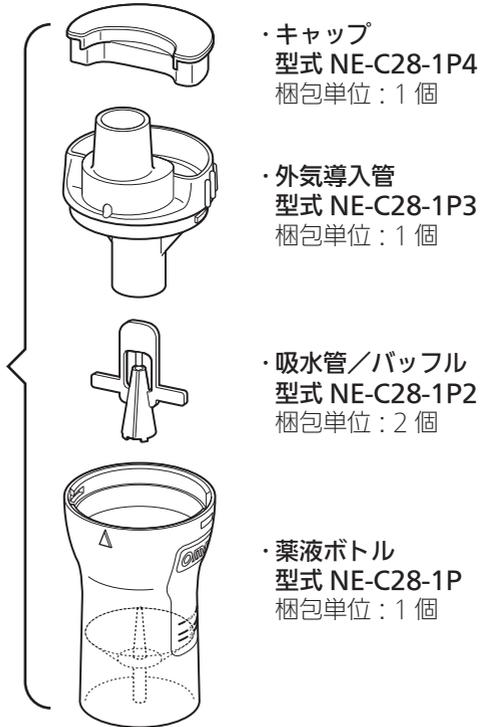
別売品について

別売品のお求めは、オムロンお客様サービスセンター
(☎電話 0120-84-6606) までお問い合わせください。

次の別売品をご用意しています。

困ったときに・保証など

- ・ネブライザキット
(キャップ、外気導入管、
吸水管/バッフル、薬液
ボトルのセット)
型式 NE-C28-1
材質：PP
梱包単位：1組



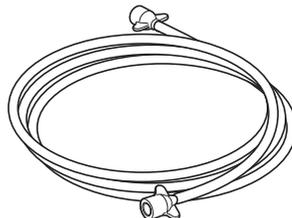
- ・キャップ
型式 NE-C28-1P4
梱包単位：1個

- ・外気導入管
型式 NE-C28-1P3
梱包単位：1個

- ・吸水管/バッフル
型式 NE-C28-1P2
梱包単位：2個

- ・薬液ボトル
型式 NE-C28-1P
梱包単位：1個

- ・送気ホース
型式 NE-C28-6
材質：ホース/シリコン
エアプラグ/PP
梱包単位：1本



- ・マウスピース
型式 NE-C28-3P
材質：PP
梱包単位：1 個



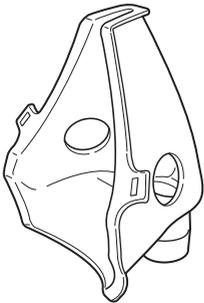
- ・マウスピース (5 個入り)
型式 NE-C28-3
材質：PP
梱包単位：5 個



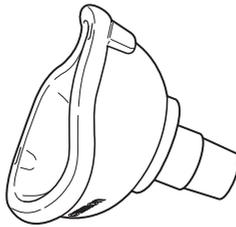
- ・ノーズピース (ソフトタイプ)
型式 NE-C10-10P
材質：PVC
梱包単位：5 個



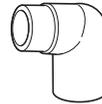
- ・吸入マスク (大)
型式 NE-U10-1P
材質：SEBS
梱包単位：1 個



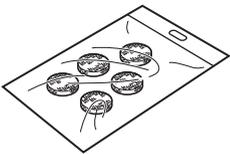
- ・吸入マスク (小)
型式 NE-U10-2P
材質：SEBS
梱包単位：1 個



- ・吸入マスク (小) 用
アダプタ
型式 NE-C28-4
材質：PP
梱包単位：1 個



- ・エアフィルタセット
型式 NE-C28-2
材質：ポリエステル
梱包単位：5 個



- ・エアフィルタカバー
型式 NE-C28-5
材質：ABS
梱包単位：1 個



- ・取扱説明書 (本書)
型式 NE-C29-MA
梱包単位：1 冊

困ったときに・保証など

[凡例] ABS = アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン樹脂
PP = ポリプロピレン樹脂
PVC = ポリ塩化ビニール樹脂
SEBS = スチレン系エラストマ樹脂

メモ

困ったときに・保証など

メモ

困ったときに・保証など

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 品質保証書の提示がない場合。
 - (ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。

品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。

※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただくください。

販売名 オムロンコンプレッサー式ネブライザ
NE-C29

ご芳名

ご住所

TEL ()

お買い上げ店名

印

住所

TEL ()

お買い上げ年月日 年 月 日

製造販売元

オムロンヘルスケア株式会社

〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地



製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロンヘルスケア お客様サポート

<http://www.healthcare.omron.co.jp/support/>

消耗品・別売品のご注文は

<http://store.healthcare.omron.co.jp/>

オムロン お客様サービスセンター

TEL 0120-84-6606 (通話料無料) FAX 0120-10-1625 (通信料無料)

受付時間 9:00~19:00(土・日・祝日は、9:00~17:00年末年始を除く)

〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370 ※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。